

院内感染防止対策についての取組

1. 基本的な考え方

院内感染の防止に留意し、感染症の発生の際はその原因の速やかな特定、制圧、収束を図ることは、医療提供施設にとって重要と考えます。

当院では院内感染防止対策を実践できるよう指針を設けています。

2. 院内感染管理体制

院長を院内感染管理者に指定し、指針及びマニュアルを作成します。

異常な感染症が発生した場合には、速やかにその原因を究明し改善策を立案し、実施するために全職員への周知徹底を図ります。

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型コロナウイルス感染症を診断した場合、速やかに保健所へ届け出ます。

3. 院内感染発生時の対応

速やかに発生の原因を究明し、改善策を立案し、実践する為に全職員への周知徹底を図ります。

4. 院内感染対策マニュアル

手洗いの徹底、個人予防具の適切な使用など感染対策に常に努めます。

5. その他

院内で判断困難な状況が発生した場合、豊田市保健所、地域機関病院、大学病院等と密に連携を取り適切な助言を得て対応します。